

全国都市問題会議に参加

第80回全国都市問題会議が、10月11日、12日の2日間にわたり新潟県長岡市で開催され、戸田市議会からは9名の議員が参加しました。「市民協働による公共の拠点づくり」をテーマに、長岡市における事例や、長岡市長や学識経験者の講演と報告、パネルディスカッションなどを見聞きし、市民協働による公共の拠点づくりに向けて考察を深めることができ、大変有意義な会議となりました。



▲会場のアオーレ長岡にて

駅頭募金を実施 平成30年7月豪雨

「平成30年7月豪雨」で亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災者の皆様にお見舞いを申し上げます。

戸田市議会では、被災された地域の方々への支援といたしまして、7月19日の夕刻、議員が市内3駅に赴き、駅頭募金活動を行いました。

その結果、18万8,060円の募金が集まりました。これは全国市議会議長会を通じて、被災地域への支援に活用されます。ご協力、ありがとうございました。



▲平成30年7月豪雨 駅頭募金(戸田公園駅)

町会

広報とだの折り込み作業等、負担軽減を 「アンケート結果に基づき協議」

酒井 郁郎 議員



▲町会の皆さま、毎回ありがとうございます

市民生活部長 負担軽減のためのアンケート調査中なので、その結果に基づき協議していきます。

大きく、ある町会ではいつも特定の方に作業負担がかかっているという声も聞かれます。折り込み作業を無くすだけならば折り込み機を使う方法がある。本件のみならず、少しでも町会の負担軽減を考えた方がいい。

「行政でやってほしい」という声もある。中でも、「広報とだ」と同時に配布するチラシの折り込み作業の負担感が大きく、ある町会ではいつも特定の方に作業負担がかかっているという声も聞かれます。折り込み作業を無くすだけならば折り込み機を使う方法がある。本件のみならず、少しでも町会の負担軽減を考えた方がいい。



議員「広報とだ」への配布は、各町会に依頼しているが、「行政でやってほしい」という声もある。中でも、「広報とだ」と同時に配布するチラシの折り込み作業の負担感が大きく、ある町会ではいつも特定の方に作業負担がかかっているという声も聞かれます。折り込み作業を無くすだけならば折り込み機を使う方法がある。本件のみならず、少しでも町会の負担軽減を考えた方がいい。

町会頼みは、もうやめよう

その他の質問
Q 戸田市立介護老人保健施設が指定管理者による運営となった。介護の質向上へ、適切な評価とフィードバックの仕組みづくりを。
A モニタリングを適切に行う。

総務部長 部門間のシステム連携改善や先端技術の導入を進める。

議員 I-Tの導入で大きな効果が期待できる。例えば、現在市役所では紙のタイムカードを使用しており、その内容を入力したり紙に打ち出したり、はんこを押したり突合したりと、手数がかかる上、ミスも発生しやすい。効率の面でも事務の正確さという意味でも、課題となっている。

議員 I-Tの導入で大きな効果が期待できる。例えば、現在市役所では紙のタイムカードを使用しており、その内容を入力したり紙に打ち出したり、はんこを押したり突合したりと、手数がかかる上、ミスも発生しやすい。効率の面でも事務の正確さという意味でも、課題となっている。

I-T投資で内部業務の効率化を

一般質問

議会改革特別委員会 委員長報告

議会改革特別委員会では、前任期の特別委員会から申し送りされたタブレット端末およびクラウド文書共有システムの導入について、全議員を対象に実際にタブレット端末を使用する形式で、説明会を3回開催。また、先進導入自治体を委員会で視察、さらに、タブレット端末を既に導入している他の市議会における運用状況についての調査を実施するなど、調査研究を進めてきました。

その後、本市議会が求める機能要件の確認、戸田市議会タブレット端末使用基準の策定、そして、本年6月定例会において、タブレット端末、システム導入および運用に係る費用についての補正予算が議決され、本年8月20日に、タブレット端末の運用を開始、本会議と委員会で使用する議案書等の資料をクラウド上での共有・閲覧が可能となりました。

タブレット端末を導入 全議員に貸与

戸田市議会では、本年8月20日より、タブレット端末とクラウド文書共有システムの運用を開始しました。

文書ファイルをタブレット端末などで閲覧できるようになり、情報共有の迅速化や会議運営の効率化などが期待されています。当分の間は、紙資料と併用となりますが、段階的に会議のペーパーレス化を目指していきます。



▲クラウド文書共有システム操作説明会(8月27日)

戸田市立図書館

指定管理者選定や モニタリング等の 今後は「職員配置や 行事等厳しく監視する」

矢澤 青河 議員



議員 長
期休館中の戸田市立図書館。再開時、指定管理者

による運営が始まるが、選考等のルールや適切なインセンティブが重要。指定管理者選定や以降のモニタリング等について伺う。

議員 平成28年策定の戸田市立図書館ビジョンでは、市民の要望を受け、カフェ等の検討がされている。今後のビジョンの進め方は、

教育部長 ビジョンを踏まえ事業者を決定し、



▶図書館・郷土博物館

総務部長 類似団体との比較や統計データの活用については、計画策定や行政評価等において行っており、効率的な行政運営を進めている。EBPMの推進は、さらに重要性が増すと考えており、職員の育成等についても推進していく。

議員 戸田市は地方税の縛りが無く、独自事業等多いと感ずる。昨年内閣府によりEBPMの推進が掲げられた。詳細な類似団体を選定して比較や参考にする等、統計データ活用等の推進について伺う。

EBPMの推進を

共に実現に向け取り組む。カフェ開設は今後も検討課題。今回の工事で現行の休憩飲食スペースを拡大予定。